



志・和・創

厚東川中だより第1号
宇部市立厚東川中学校
令和4年4月13日発行

「志と和をもって未来を創る生徒の育成」 ～全ての生徒が「がんばり」と「優しさ」を発揮する学校に～

校長 杉原早苗

昨年度末の異動で、この度、長門市立菱海中学校から厚東川中学校へ着任しました。厚東川中学校の伝統、文化、校風を受け継ぎ、保護者の方々、地域や関係機関の方々のご理解とご協力を得ながら、生徒の未来につながる教育活動を全教職員で進めてまいります。よろしくお願いいたします。

さて、新しい年度がスタートしました。校門の桜は、新たな挑戦や期待を胸に登校してきた生徒を祝うかのように、満開で迎えてくれました。まだまだコロナ禍が続ぎ、収束が見えませんが、始業式と入学式を、生徒、保護者、学校関係者の皆様のご理解とご支援をいただいて、無事終えることができましたこととお礼申し上げます。

さて、新入生11名を迎え、全校生徒44名でのスタートです。学校教育目標は、「志と和をもって未来を創る生徒の育成」です。変化が激しく予測困難な時代を迎え、加えてコロナ禍の中、社会全体が答えのない問いにどう立ち向かうのかが問われています。そして、そのような中、生徒一人ひとりが自分のよさや可能性に気づき、多様な人々と協働しながら困難を乗り越え、豊かな人生を切り開いていけるようにすることが求められています。

これらを踏まえて厚東川中では、次のようなめざす生徒像を目標として掲げています。

- ◆大きな目標に向かって、何事にも取り組む生徒（志）
- ◆人の心を大切にし、誰とでも仲良くできる生徒（和）
- ◆意欲をもって学び、新しい自分を創り出す生徒（創）

この「めざす生徒像」に近づけるよう努力してほしいと願い、「全ての生徒が『頑張り』と『優しさ』を発揮できる学校」を合い言葉に掲げました。始業式、入学式でこのことについて、「大事にしてほしい二つのこと」を述べましたので、少し紹介します。

一つ目は、「ここにいてすべての皆さん、一人ひとりには、自分も知らない素晴らしい能力があります。でも、その能力は、磨かないと見えてこない」ということです。

みなさんの日常にはさまざまな場面があります。その中で、「頑張り」を発揮して、学びながらその能力を磨き、自分のできることを一つずつ増やしていくことが大切です。一足飛びにはいきませんが、「頑張り」を発揮して、積み上げ、将来の「なりたい自分」になれるように学ぶのです。

二つ目ですが、「こうして能力を磨き、できることがいくら増えても、これだけでは、実は、「なりたい自分」にはなれません。人は人との関わりの中で生きています。「人とつながる」ということができないとせっかく磨いた能力を生かせず、「なりたい自分」にはなれないのです。

人とつながるために使うのが、皆さんの中にある「優しさ」なのです。「優しさ」を発揮して、つながりを広げていって、人や社会と関わる力をつけていくということが重要です。

「頑張り」を発揮し、加えて『優しさ』を発揮することで、なりたい自分、そして、将来幸せになる。このためにこの厚東川中学校で学ぶ意味があるのです。

厚東川中学校の生徒であるという誇りと、支えてくださる地域の方を初め周囲の方への

感謝をもって、様々な場面で「頑張り」と「優しさ」を発揮しながら、自分、学校、地域への夢を語れる生徒の育成に向けて、教職員一同全力で取り組んでまいります。

保護者、地域の皆様方、本校へのご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

令和4年度 厚東川中の新しい歴史が始まります！

着任式

4月8日の着任式では、新たに厚東川中に着任した教員に対し、生徒会副会長山村優奈さんが歓迎の挨拶を述べました。



歓迎挨拶をした副会長
山村優奈さん

厚東川中学校は、全校生徒が少ない学校ですが、少人数だからこそ、他学年の生徒とも仲がよく、毎日楽しく学校生活を送っています。また、厚東川中学校では、夢太鼓や小野の紙すきといった伝統文化が盛んです。夢太鼓は福岡県で行われる全国大会にも出場する予定です。小野の紙すきは、和紙の素材となる楮を加工するところから、紙をすく作業まで体験することができます。

赴任されたばかりで期待や緊張など様々な思いを抱かれていますことと思いますが、厚東川中学校の生徒は、明るく元気で親しみやすい生徒ばかりです。分からないことがあったりしたときはいつでも聞いてください。また、私たちにたくさんのことを教えてください。私たちも先生方と充実した学校生活を送りたいと思っています。

入学式

4月8日の入学式は、厳粛、かつ、温かい雰囲気の中行われました。新入生代表宣誓では西田 雅君が、力強く誓いの言葉を述べました。また、在校生代表歓迎の挨拶として生徒会長の永安彩星さんが、新入生に優しく、温かく語りかけていました。



新入生代表 西田 雅君



初めての学活



歓迎挨拶をした
生徒会長
永安彩星さん

今皆さんは期待や不安でいっぱいだと思います。分からないことや困ったことがあれば、先生方や先輩に何でも聞いてください。

人数が少ないことを生かし、運動会や文化祭といった行事を全校生徒一丸となり取り組むことが多いです。そして、厚東川中学校には夢太鼓や紙すきなどの伝統もあります。夢太鼓では、今年は全国大会に出場することが予定されています。このように様々な舞台上で演奏することができるのは、地域の方々が支援してくださっているからです。「感謝の気持ちを力に変えて」日々練習しています。皆さんも一緒に様々な舞台上で演奏していきましょう。

入学してから卒業までの3年間はあっという間です。多くのことを学び、充実した学校生活を送ってください。皆さんと一緒に厚東川中学校で過ごすことを楽しみにしています。

宇部市春季体育大会

4月15日、16日の大会に向けて、感染防止対策について共通理解し、安全に留意しながら部活動を行っている毎日です。ご家庭でもお子様の活躍を楽しみにしていられっやと思います。4月8日付けの文書でお知らせしましたように、いずれの試合も無観客での開催となりました。感染防止の観点から観戦を控えていただきますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。